

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

舞鶴市立赤れんが博物館 (舞鶴市字浜2011番地：赤れんが1号棟)

赤れんが博物館は明治36年に建設された旧舞鶴海軍の魚雷の倉庫を活用した、日本に現存する最古級の鉄骨れんが建造物。れんがの歴史や世界の建造物で使用された様々なれんがが展示されている他、世界の著名なれんが建造物の紹介、ホフマン式輪窯を再現したコーナーでれんがの製法を紹介。

1. 舞鶴市立赤れんが博物館の状況

施設の基本情報

- ◆ 博物館種別：博物館類似施設 (指定施設申請中)
- ◆ 国指定重要文化財 2008 (平成20) 年6月指定
- ◆ 2016年「旧鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本の近代化の躍動を体感できるまち～」が日本遺産に認定され、赤れんが博物館は主要構成文化財の一つになっている
- ◆ 公式HP：舞鶴市ホームページ>教育・文化・スポーツ>歴史・文化
開館時間：9:00～17:00 (最終入館 16:30)
- ◆ 休館日：年末年始 (12/29～1/1)
- ◆ 入館料：一般 (個人：400円/20名以上の団体：300円)、小学～大学の学生 (個人：150円/20名以上の団体：100円) ※ただし、市内在住か在学の学生は無料

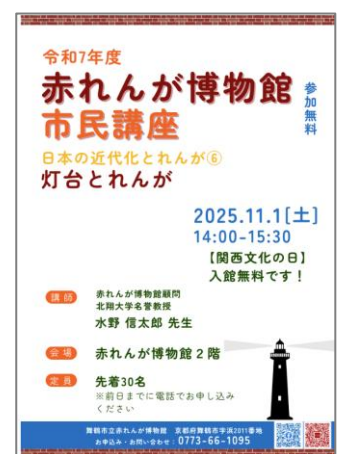


▲舞鶴市立赤れんが博物館 エントランス (赤れんが1号棟)

2. デジタルアーカイブの取組み (これまで)

公開状況

- ◆ デジタルアーカイブサイト：なし
- ◆ デジタルアーカイブはほぼ未着手。
- ◆ ウェブサイトや観光パンフレットへの情報掲載に留まっている状況。
- ◆ 文化遺産オンラインへの登録済み、資料の公開は未実施。
- ◆ 令和7年度から、舞鶴市ホームページ>「赤れんが博物館NEWS」を発行し、楽しくて役に立つれんが情報を発信している。
- ◆ 年に数回、赤れんが博物館市民講座を企画・開催。



▲赤れんが博物館NEWS

▲無料の市民講座

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

3. 常設展示室

【1F展示室】

・世界のれんが

世界各国で建築材料として広く使用されてきたれんがを展示（エジプト・メソポタミア・インダス・中国などの古代文明発祥地など）。

・ホフマン窯コーナー

かつてれんが製造を主流を占めたホフマン窯内部を再現し、れんがの作り方を紹介。



▲世界のれんが



▲ホフマン窯コーナー

【2F展示室】

・日本のれんがの歩み

中国大陸・朝鮮半島から日本へ仏教建築の材料として伝わったれんがの歩み、明治維新以降の文明開化により造られた数多くのれんが建造物を紹介し、そのれんがを展示。

・舞鶴市とれんが

旧海軍鎮守府の施設として建てられた舞鶴市内の赤れんが建造物の紹介。

・耐火れんがコーナー

江戸幕府末期に造られた反射炉の耐火れんがから現代の耐火物までを展示。

・歴史を証言するれんが

原爆ドームやアウシュビッツ強制収容所で使用されたれんがなどを展示。

・体験コーナー

れんが積木やれんがパズルなどを通して、れんが積み疑似体験できるコーナーを設置。



▲日本れんがの歩み



▲舞鶴市とれんが



▲耐火れんがコーナー



▲歴史を証言するれんが



▲体験コーナー

4. 所蔵資料の特長

- ・本格的な鉄骨構造のれんが建築物としては、日本に現存する最古級のものである。
- ・施設内では、世界四大文明のれんがなど、世界各国の「れんが」や「れんが」の歴史を展示。
- ・収蔵資料は約2,500点、展示資料は約300点。



2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

現地調査：2025年11月12日（水）実施

◆参加者

- ・舞鶴市立赤れんが博物館 氏
- ・舞鶴市立赤れんが博物館 学芸員 氏
- ・舞鶴市生涯学習部 文化振興課 歴史文化まちづくり係 氏

◆概要（撮影対象資料とご要望）

1. 対象資料

- ・れんがが資料を中心に撮影したい。
- ・過去に撮影した画像は展示ケースの外から撮影したものが多く、公開ができない品質のものが多い。
- ・撮影希望資料：50点＋予備10点、重量資料は展示室内での撮影が望ましい。
- ・1Fの常設展示室にある大型れんがの撮影撮影：重量が38.1kgほどあり、複数名で展示ケースから持ち出し、常設展示室内での撮影を希望。
- ・撮影・研修は「感覚習得」を重視、その後、段階的にスキルを向上させていきたい意向。

2. 地域連携・目的

- ・北部地域の文化財を活用した、教育プログラム開発が必要。
- ・デジタルアーカイブ推進は観光・教育両面で重要との認識。

3. 撮影における実務課題

- ・搬送について：1Fの大型れんがの移動については2名以上で移動が必要、施設内エレベーターは利用が可能。
- ・撮影スペース：2F展示室の一角にある「休憩コーナー」を一時転用する方法を検討。
- ・実地研修と撮影のタイミングは、観光繁忙期（7月～12月上旬）を避け、閑散期（1～2月）に実施する。

4. 施設の保有機材

- ・三脚 1台（Velbon製）
- ・デジタルカメラ 1台（Canonコンパクトデジタルカメラ）



▲現地調査 打合せの様子



▲現施設の保有機材（三脚・デジタルカメラ）



▲撮影スペースの候補（2F休憩コーナー）



▲撮影希望の大型れんが（1F）



▲撮影希望の大型れんが（1F）

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

開館日に常設展示室の2Fの一角にある休憩スペースを写場にして撮影研修開始。1日目は簡易的な座学研修および、紙管組み立てから撮影体験（れんが3点）まで実施。2日目は、前日からの撮影セットを使い、職員や学芸員自身がれんがのピクセルシフト撮影などを体験した。

実地研修（1日目）

実地研修（2日目）

| 1月18日 日 | Day 1 | 研修準備日 | 分類 | 数量 | | | |
|---------|----------|--|----|----|-------|----|---|
| 12:50 | 集合 開始 | 機材 準備・調整 事前確認 撮影場所の設定：2Fの休憩コーナーを転用して設置 座学講義開始 紙管 セッティング開始 事前確認（撮影対象物 準備） 鉄釉敷瓦 旧ベルリンの壁れんが ゲジミナス城れんが | | | | | |
| 13:00 | | | | | | | |
| 13:30 | | | | | | | |
| 14:30 | | | | | | | |
| 14:45 | | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | |
| 15:50 | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | 終了・退出 | | |
| | | | | | | 日計 | 3 |

| 1月19日 月 | Day 2 | 研修日 | 分類 | 数量 | | |
|---------|-------|--|----|----|----|----|
| 8:50 | 集合 | 撮影研修と実技の開始 撮影台にて継続作業（3名で受講） 撮影実技 | 立体 | 17 | | |
| 9:00 | 開始 | | | | | |
| 9:30 | | | | | | |
| 12:00 | 昼休憩 | | | | | |
| 12:50 | 集合 | | | | | |
| 13:00 | 再開 | | | | 立体 | 27 |
| 16:40 | 撮影終了 | | | | | |
| 17:00 | 終了・退出 | | | | | |
| | | | | | 日計 | 44 |



▲2F常設展示室の休憩コーナーに写場を設置



▲簡易な座学研修を実施



▲紙管の組み立て作業を体験



▲実技研修



▲学芸員が撮影資料を展示ケースから取り出して撮影

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

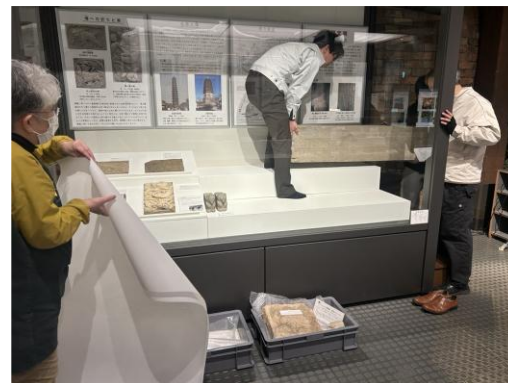
撮影 (3日目)

1Fの大型の展示資料を撮影する為、博物館を臨時休館にして撮影を実施。特に展示ケースに固定された状態で取り出しができない大型資料は、DNPスタッフがショーケースのガラス面に周囲の造作などが映り込むことを防ぐ特殊な撮影セットとライティングを施して撮影した。

| 1月20日 火 | Day 3 | 撮影 1日目 (博物館を臨時休館にして撮影) | 分類 | 数量 |
|---------|-------|---|---------|----|
| 8:50 | 集合 | | | |
| 9:00 | 開始 | 段取り打合せ・セット開始 | | |
| 9:45 | 撮影開始 | 2Fで撮影 (2F収蔵物) 2点撮影で終了 | 立体 | 2 |
| 10:02 | | 大型セット替え1Fで撮影 (1F収蔵物) | 特殊 (立体) | 8 |
| 11:08 | | 研修機材 移動 (赤れんが博物館→舞鶴市郷土資料館へ) | | |
| 12:00 | | | | |
| | 昼休憩 | | | |
| 13:00 | 再開 | 大型セット替え1Fで撮影 (1F収蔵物) 1Fで真俯瞰のセットを組みなおして追加で真俯瞰カットを撮影 | | |
| 15:00 | | 大型の資料2点を常設展示ケースから取り出して、撮影 | 特殊 (立体) | 2 |
| 17:00 | 終了・退出 | 展示室の原状復帰の上、撮影終了 | | |
| | | | 日計 | 12 |



▲ 1F常設展示室の一角に大型資料を撮影するセットを用意



▲ 1F常設展示室の展示ケースから市の職員2名が資料の取り出し作業をサポート



▲ 1F常設展示室の床に大型れんがを設置しての撮影



▲ 1Fガラスの展示ケースから取り出すことができない展示品は、ガラスに反射がないような特殊撮影を実施

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

撮影 (4日目)

4日目は、当初撮影予定ではなかった資料 (タイル等) を16点追加で撮影し、同セットにて、舞鶴市郷土資料館が所蔵する「布川家文書」1点を撮影した。

| 1月21日 水 | Day4 | 撮影2日目 | 分類 | 数量 |
|---------|-----------|--|----|----|
| 8:50 | 集合 | 2Fで撮影 (2F収蔵物) 当初撮影予定リストにはない資料 (タイル) を追加撮影 | 立体 | 2 |
| 9:00 | 開始 | | | |
| 12:00 | 終了 昼休憩 | 13時から、館長立ち合いの元で舞鶴市郷土資料館の資料1点 布川家文書 (1点・7カット) 当初撮影予定リストにはない資料 (タイル) を追加撮影 | 平面 | — |
| 13:00 | 再開 | | | |
| 16:00 | 終了・退出 | 撮影機材を移動 (舞鶴市赤れんが博物館→舞鶴市郷土資料館) | 立体 | 14 |
| | | | 日計 | 16 |



▲舞鶴市郷土資料館 「布川家文書」1点7カットを赤れんが博物館の写場にて撮影 (郷土資料館長兼赤れんが博物館長のお立ち合い)

撮影した資料点数
: 75点 (86カット)

研修 : 47点/2日

- 国内、海外のれんが
- 大型れんが

DNP撮影 : 28点/2日

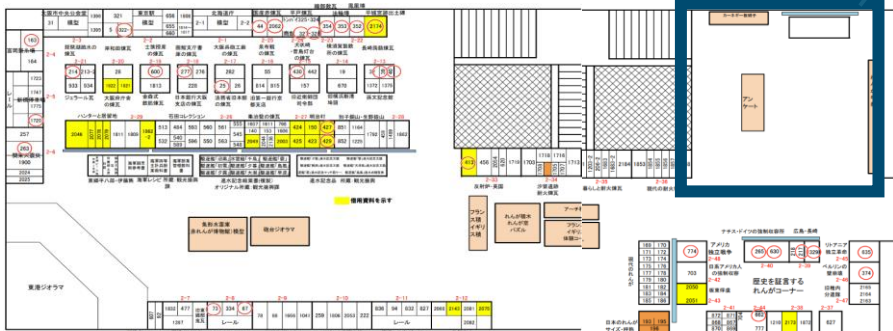
- かわら、れんが、タイル

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

撮影環境 (写場について)

写場は1F・2F常設展示室の一面を利用。

2F展示室

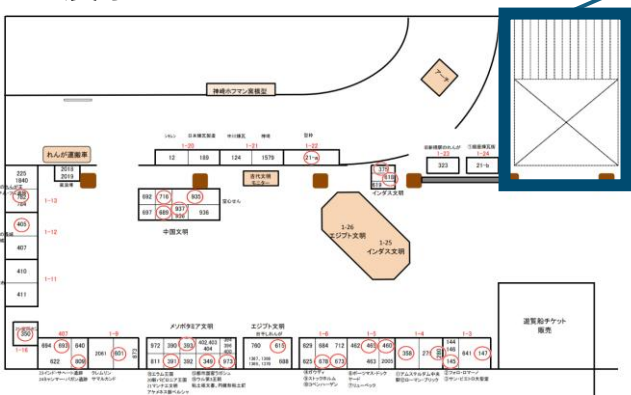


▲18平方メートル程度の休憩スペースを利用



▲このスペースを活用し、小さな立体物 (れんが) を撮影

1F展示室

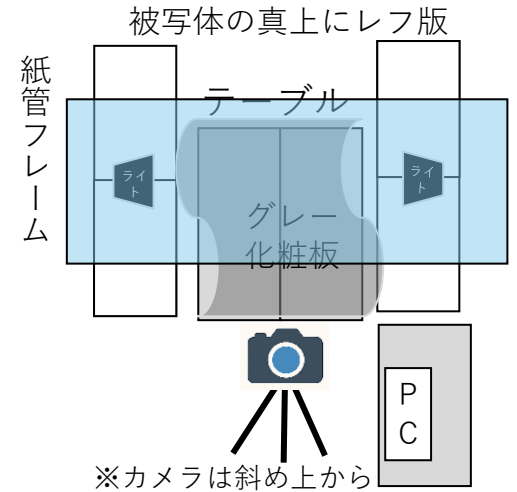


▲12平方メートル程度の映像鑑賞スペースを利用

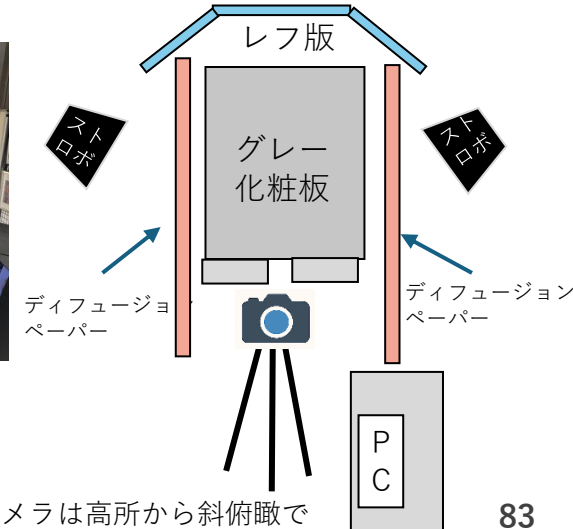


▲このスペースを活用し、大きな立体物 (れんが) を撮影

●パターン①
背景が必要な立体物 (斜俯瞰)



●パターン②
大型立体物の撮影



※カメラは高所から斜俯瞰で

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

撮影リスト (1/3) ※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称 | 撮影日 | 撮影主体 | サイズ | サイズ判定 |
|-----|-------------------------------------|-------|-------|------------|-------|
| 1 | 鉄釉敷瓦 (日本) | 1月18日 | 研修で撮影 | 330×330×30 | 立体 倉庫 |
| 2 | 旧ベルリンの壁れんが (ドイツ) | 1月18日 | 研修で撮影 | 259×134×64 | 立体 2F |
| 3 | ゲジミナス城れんが (リトアニア) | 1月18日 | 研修で撮影 | 305×125×70 | 立体 2F |
| 4 | アレクサンドロフスキー宮殿れんが (ロシア) | 1月19日 | 研修で撮影 | 242×117×70 | 立体 2F |
| 5 | オールド・ノース教会れんが (アメリカ) | 1月19日 | 研修で撮影 | 199×93×48 | 立体 2F |
| 6 | 浦上天主堂れんが[長崎県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 170×107×61 | 立体 2F |
| 7 | 讃岐煉瓦(株)製原爆ドームれんが[広島県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 218×102×58 | 立体 2F |
| 8 | テレジン収容所れんが (チェコ) | 1月19日 | 研修で撮影 | 320×160×85 | 立体 2F |
| 9 | アウシュビッツ強制収容所れんが (ポーランド) | 1月19日 | 研修で撮影 | 160×117×61 | 立体 2F |
| 10 | 萑山反射炉 耐火れんが [静岡県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 222×220×88 | 立体 2F |
| 11 | 赤れんが博物館 (旧舞鶴海軍兵器廠魚形水雷庫) れんが | 1月19日 | 研修で撮影 | 233×107×70 | 立体 2F |
| 12 | まいづる智恵蔵 (旧舞鶴海軍兵器廠弾丸庫並小銃庫) れんが | 1月19日 | 研修で撮影 | 226×107×54 | 立体 2F |
| 13 | 日本ハリストス正教会教団 東京復活大聖堂 (ニコライ堂) れんが | 1月19日 | 研修で撮影 | 207×109×55 | 立体 2F |
| 14 | 日本煉瓦製造(株)製汐留遺跡出土れんが (新橋停車場) | 1月19日 | 研修で撮影 | 232×113×61 | 立体 2F |
| 15 | 旧富岡製糸場れんが [群馬県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 227×105×49 | 立体 2F |
| 16 | 明治村帝国ホテル中央玄関すだれれんが | 1月19日 | 研修で撮影 | 210×100×55 | 立体 2F |
| 17 | 明治村帝国ホテル中央玄関テラコッタ | 1月19日 | 研修で撮影 | 210×210×65 | 立体 2F |
| 18 | 東洋組西尾分局製れんが | 1月19日 | 研修で撮影 | 226×111×57 | 立体 2F |
| 19 | 琵琶湖疏水 水路閣 [京都市] | 1月19日 | 研修で撮影 | 150×111×58 | 立体 2F |
| 20 | 開拓使茂辺地煉化石製造所製旧開拓使函館支庁書庫れんが [北海道] | 1月19日 | 研修で撮影 | 222×110×58 | 立体 2F |
| 21 | 竹内仙太郎製菅島燈台付属官舎れんが[三重県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 235×115×50 | 立体 2F |
| 22 | 史跡小菅修船場跡れんが [長崎県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 124×108×44 | 立体 2F |
| 23 | 史跡小菅修船場跡れんが [長崎県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 89×112×44 | 立体 2F |
| 24 | 法務省日本館れんが [東京都] | 1月19日 | 研修で撮影 | 222×106×58 | 立体 2F |
| 25 | 平城宮跡出土第一次大極殿磚積擁壁磚[奈良県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 290×160×79 | 立体 2F |
| 26 | 鳳凰磚 (日本) | 1月19日 | 研修で撮影 | 220×295×50 | 立体 2F |
| 27 | 法輪磚 (日本) | 1月19日 | 研修で撮影 | 400×180×50 | 立体 2F |
| 28 | 平戸オランダ商館跡 れんが [長崎県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 165×110×35 | 立体 2F |
| 29 | 平戸オランダ商館跡 れんが [長崎県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 110×110×38 | 立体 2F |
| 30 | ハルデスレンガ [長崎県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 222×105×40 | 立体 2F |

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

撮影リスト (2/3) ※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称 | 撮影日 | 撮影主体 | サイズ | サイズ判定 |
|-----|---|-------|-------|--------------|-------|
| 31 | 横須賀製鉄所製 れんが [神奈川県] | 1月19日 | 研修で撮影 | 235×114×50 | 立体 2F |
| 32 | 日本煉瓦製造(株)製東京駅丸の内駅舎れんが [東京都] | 1月19日 | 研修で撮影 | 228×113×57 | 立体 2F |
| 33 | 小菅集治監製銀座煉瓦街れんが[東京都] | 1月19日 | 研修で撮影 | 225×105×60 | 立体 1F |
| 34 | モエンジョ・ダロ遺跡出土れんが (パキスタン) | 1月19日 | 研修で撮影 | 300×150×65 | 立体 1F |
| 35 | ハラッパー遺跡出土れんが (パキスタン) | 1月19日 | 研修で撮影 | 105×120×50 | 立体 1F |
| 36 | 明命 (ミンマン) 帝陵れんが (ベトナム) | 1月19日 | 研修で撮影 | 295×140×62 | 立体 1F |
| 37 | クレムリン グラノヴィータヤ宮殿れんが (ロシア) | 1月19日 | 研修で撮影 | 231×113×73 | 立体 1F |
| 38 | セント・ペトリ教会れんが (ドイツ) | 1月19日 | 研修で撮影 | 180×135×80 | 立体 1F |
| 39 | 織部敷瓦 (日本) | 1月19日 | 研修で撮影 | 285×300×40 | 立体 2F |
| 40 | ポーツマス・ドックヤード第10倉庫れんが (イギリス) | 1月19日 | 研修で撮影 | 225×105×70 | 立体 1F |
| 41 | ゲエル公園 多列柱室れんが (スペイン) | 1月19日 | 研修で撮影 | 280×140×15 | 立体 1F |
| 42 | コロニア・グエル地下聖堂れんが (スペイン) | 1月19日 | 研修で撮影 | 160×140×50 | 立体 1F |
| 43 | フォロ・ロマーノ出土れんが (イタリア) | 1月19日 | 研修で撮影 | 257×124×32 | 立体 1F |
| 44 | サン・ピエトロ大聖堂れんが (バチカン) | 1月19日 | 研修で撮影 | 273×125×32 | 立体 1F |
| 45 | アムステルダム中央駅れんが (オランダ) | 1月19日 | 研修で撮影 | 209×99×50 | 立体 1F |
| 46 | 伏羲と蛇の塼 (南京近郊の墳墓) (中国) | 1月19日 | 研修で撮影 | 212×290×30 | 立体 1F |
| 47 | 鷺と蓮の塼 (仏教寺院跡) (中国) | 1月19日 | 研修で撮影 | 385×210×75 | 立体 1F |
| 48 | 動物の浮彫、神話の刻印入り (中国) | 1月20日 | DNP | 202×127×68 | 立体 1F |
| 49 | 都市国家ラガシュ跡地出土楔形文字入りれんが (イラク) | 1月20日 | DNP | 315×305×55 | 立体 1F |
| 50 | ドーバーの要塞城壁のローマンブリック (イギリス) | 1月20日 | DNP | 420×310×30 | 立体 1F |
| 51 | 万里の長城 城塼 (明代) (中国) | 1月20日 | DNP | 400×200×100 | 立体 1F |
| 52 | パガン遺跡 褐釉浮彫れんが (ミャンマー) | 1月20日 | DNP | 239×242×34 | 立体 1F |
| 53 | サヘート遺跡 (祇園精舎) 僧院跡れんが (インド) | 1月20日 | DNP | 410×195×95 | 立体 1F |
| 54 | チョガ・ザンビル出土楔形文字入りれんが (イラン) | 1月20日 | DNP | 355×170×90 | 立体 1F |
| 55 | ウルのジググラト アブズ神殿アマル・スエン記銘れんが (楔形文字) (イラク) | 1月20日 | DNP | 300×300×50 | 立体 1F |
| 56 | 楔形文字入りれんが (新バビロニア朝時代) (イラク) | 1月20日 | DNP | 325×325×60 | 立体 1F |
| 57 | マルカタ南遺跡魚の丘祭殿出土日干しれんが (エジプト) | 1月20日 | DNP | 340×170×110 | 立体 1F |
| 58 | 不死樹と羽人刻印入り空洞塼 (王侯貴族の墳墓) (中国) | 1月20日 | DNP | 1286×300×176 | 特殊 1F |
| 59 | 亭長と虎刻印入り空洞塼 (黄河流域王侯貴族の墳墓) (中国) | 1月20日 | DNP | 1260×200×200 | 特殊 1F |

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

撮影リスト (3/3) ※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称 | 撮影日 | 撮影主体 | サイズ | サイズ判定 |
|-----|-------------------------------------|-------|------|-------------|-------|
| 60 | 石田兵一コレクション かわら | 1月21日 | DNP | 追加分：サイズ記載なし | 立体 2F |
| 61 | 石田兵一コレクション レンガ | 1月21日 | DNP | | 立体 2F |
| 62 | 博物館No 950 有田焼タイル | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 63 | 博物館No 952 有田焼タイル | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 64 | 博物館No 949 有田焼タイル | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 65 | 博物館No 953 瀬戸本業式瓦 | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 66 | 博物館No 954 ヴィクトリアンタイル (近代湿式象嵌タイル) | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 67 | 博物館No 955 ヴィクトリアンタイル (チューブライニングタイル) | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 68 | 博物館No 956 ヴィクトリアンタイル (鉛透明釉タイル) | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 69 | 博物館No 962 北京日中友好会館 試作タイル 加藤唐九郎作 | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 70 | 博物館No 963 北京日中友好会館 試作タイル 加藤唐九郎作 | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 71 | 博物館No 964 北京日中友好会館 試作タイル 加藤唐九郎作 | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 72 | 博物館No 965 北京日中友好会館 試作タイル 加藤唐九郎作 | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 73 | 博物館No 966 北京日中友好会館 試作タイル 加藤唐九郎作 | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 74 | 博物館No 967 北京日中友好会館 試作タイル 加藤唐九郎作 | 1月21日 | DNP | | 立体 倉庫 |
| 75 | 博物館No 968 北京日中友好会館 試作タイル 加藤唐九郎作 | 1月21日 | DNP | 立体 倉庫 | |

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (7) 舞鶴市立赤れんが博物館

施設ヒアリング：デジタルデータの活用イメージ・アイデア

- 企画展や情報発信により、赤れんがの魅力国内外に伝え、博物館への来館動機へとつなげたい。
- 赤れんがのまち「まいづる」に興味を持ってもらい、地域の活性化につなげたい。
- 「誰でも」「いつでも」「どこでも」「自由に」公開可能な所蔵資料にアクセスでき、学びの機会が提供されている状態にしたい。
- 資料等の情報を公開することにより、学習活動や文化芸術活動に貢献したい。
- 資料情報の整理による資料管理の効率化を図りたい。
- 赤れんが博物館単館だけではなく、引揚記念館、郷土資料館、公民館、学校等が有している舞鶴市の文化的かつ歴史的資源である所蔵品をデジタルアーカイブ化し、国内外に発信し、市内の文化資源情報を確認できる環境を整備することで、舞鶴市への来訪動機につなげたい。
- 今回撮影したデータは、文化遺産オンライン登録し、さらに市役所のHPに公開したい。

施設ヒアリング：課題

- デジタル化の重要性は理解しているものの、3名の職員で運営しており、実作業を担う余力・時間が不足している。
- 収蔵資料は約2,500点あるが、展示資料は約300点で多くが「死蔵」状態にある。
- 収蔵庫が未整備であり、定期的な展示替えや企画展が開催しづらい状況。
- れんが台帳、写真、貯蔵経過書等の整っていないものも多数ある。
- デジタル化や公開する資料の著作権状況を確認し、必要な許諾を得る作業を行う必要がある。
- 展示解説をするギャラリーツアーなどもできるとよいが、解説ができる職員は2名であり、対応できる余裕や時間がないのが実情。
- 本事業においては、施設を1日臨時休館するなどして撮影スケジュールを組んだが、同じような規模で継続するとなると撮影スケジュールを組むのが難しい。資料の安全な取り扱いとデジタル化作業を行うためのスペースを確保する必要がある。

その他

- 毎年、市内の小学6年生18校が見学に来館する機会がある。

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

舞鶴市郷土資料館 (京都府舞鶴市南田辺1)

古代の文化や仏教美術、城下町、海軍の遺産、引き揚げなど、舞鶴が誇る歴史や文化の全体像を紹介。貴重な実物資料や映像資料を展示するとともに舞鶴の様々な歴史文化情報を得ることができるガイダンス施設。

1. 舞鶴市郷土資料館の状況

施設の基本情報

- ◆ 博物館種別：指定施設
- ◆ 公式HP：舞鶴市の公式WEBサイト>教育・文化・スポーツ>歴史・文化>郷土資料館
- ◆ 開館時間：9:00~17:00 (最終入館 16:30)
- ◆ 休館日：月曜日 (祝日の場合は翌々日)、年末年始、企画展の前後など臨時休館あり
- ◆ 入館料：一般 (個人：100円、団体：70円)、
学生 (個人：50円、団体：30円 ※市内在学・在住者は無料)



▲舞鶴市郷土資料館 外観

2. デジタルアーカイブの取組み (これまで)

公開状況

- ◆ デジタルアーカイブサイト：なし

- ◆ 一部資料の公開：
「舞鶴市郷土資料館だより」に一部収蔵資料画像を利用。
- ◆ 掲載の頻度：月次

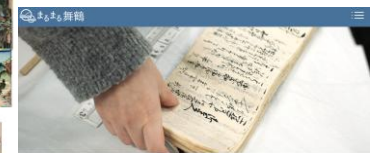


▲舞鶴市郷土資料館だより
令和8年1月号

- ◆ 立命館大学アート・リサーチセンターにより、同施設の所蔵品を用いた「舞鶴市糸井文庫デジタルミュージアム」「舞鶴市糸井文庫浮世絵閲覧システム」が公開されている。
- ◆ 京都府立大学歴史学科と連携し、図書館等含めた資料の一括検索・ダウンロードが可能なWebサイト「まるまる舞鶴」公開中。



▲舞鶴市糸井文庫浮世絵閲覧システム



▲まるまる舞鶴

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

3. 常設展示室

常設展示：古代の文化や仏教美術、城下町、海軍の遺産、引き揚げなど、舞鶴が誇る歴史や文化の全体像を紹介。

・海とともに生きる

日本海を介して外部と交流すると共に様々な文化を受け入れてきた舞鶴の歴史を、出土した考古資料を通して紹介。

・日本海大交易の時代

多数の船頭や乗組員を輩出し、日本海海運の一翼を担った舞鶴の歴史を紹介。

・城下町田辺の歴史と文化

江戸時代を通じ藩領の中心地として発展した城下町・田辺の歴史と文化を絵図や絵巻を通して紹介。

・海軍の遺産

日本海側唯一の軍港として設置された舞鶴鎮守府関連の近代化遺産をパネルで紹介

・糸井文庫

糸井仙之助により収集された丹後地方ゆかりの錦絵等のコレクションを展示

・舞鶴のまつりと祈りのころ

舞鶴に残る四季折々の祭りや多彩な民俗芸能を紹介

・舞鶴のみほとけたち

国宝や重要文化財に指定される仏教美術の優品をパネルで紹介

4. 所蔵資料の特長

考古出土品、歴史的文書、民具や、錦絵、絵巻等、舞鶴市に関連する多彩な収蔵資料を保有。



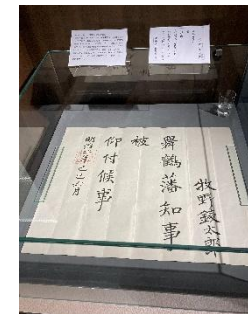
▲「海とともに生きる」考古資料の展示



▲「日本海大交易の時代」北前船模型



▲「城下町田辺の歴史と文化」古地図



▲舞鶴藩知事辞令書



▲「糸井文庫」浮世絵



▲丹後田辺府誌

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

現地調査：2025年11月12日（水）実施

◆参加者

- ・舞鶴市郷土資料館 学芸員 ████████ 氏
- ・舞鶴市生涯学習部 文化振興課 市史編さん係 ████████ 氏
- ・舞鶴市生涯学習部 文化振興課 歴史文化まちづくり係 ████████ 氏

◆概要（撮影対象資料とご要望）

1. デジタル化の目的と背景

- ・舞鶴市郷土資料館で所蔵する資料（約6万点）を効率的にデジタル化する必要がある。
- ・市史編纂事業が進行中で、外部執筆者への資料提供のため大量撮影が求められている。
- ・現在の保有機材は古く、効率が悪いため改善が必要。

2. デジタル化の方法と技術

- ・撮影セットの工夫：軽量フレーム+LED照明、傾斜台で腰への負担軽減。
- ・撮影モード：テザーモードでPC連携、自動処理。
- ・対象資料：古文書、絵巻物、図面、大砲関連資料、写真など。
- ・撮影方針：公開用は表紙+見開きページで概要を示す。
内部利用（市史編纂）は全ページ撮影を目指す。
NPO法人堀内氏：高解像度で質感まで記録することを推奨。
(後の解析に有用の為)

3. 公開と優先順位

- ・公開価値の高い資料（市指定・府指定文化財）を優先。
- ・非公開資料（手書き図面など）は内部利用目的で撮影。

4. 実地研修とスケジュール

- ・研修目的：学芸員・関係者が撮影技術を習得。
- ・場所：郷土資料館（公民館併設）

5. 機材・設備

- ・改造や工夫で当面对応可能だが、将来的には更新が必要。
- ・京都府北部文化データセンター（仮称）の活用も視野に入れる。



▲現地調査時会議風景



▲絵巻物（朝代神社祭礼絵巻）



▲埋蔵銭



▲文書類



▲大砲関連資料

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

実地研修 (1日目)

赤れんが博物館から研修機材が到着後、市史編纂室の担当者も合流してNPO法人フィールドより講義を開始。紙管セットの組み立てからディフューザー張り、ライト取り付け、レフ板の作成を行った上で、平面資料の撮影体験も実施し、計9点を撮影。

| 1月20日 火 | Day 1 | 研修準備・研修日 | 分類 | 数量 |
|---------|-----------|---|----|----|
| 12:50 | 集合 | 研修機材 到着 (赤れんが博物館 → 舞鶴市郷土資料館) | | |
| 13:00 | 開始 | 機材 準備・調整 事前確認 | | |
| 13:45 | | 研修の趣旨説明・研修講義開始 | | |
| 14:30 | | 紙管セット×2組み立て、ディフューザー張り、ライト 取り付け、レフ板作成 | 平面 | 9 |
| 15:40 | | 撮影開始 通し番号1~9 | | |
| 17:00 | 終了・退 出 | | 日計 | 9 |



▲簡易なレフ板の作成



▲紙管セットの
組み立て



▲堀内氏による講義



▲紙管セットの組み立て



▲実技の研修風景



▲担当者による撮影風景

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

実地研修 (2日目)

1日目に引き続き、市史編纂室の担当者も含め卷子・絵巻・文書を中心に撮影を進行。後半には横長の大型絵巻物「朝代祭礼絵巻」を部分ごとに計20カット撮影、フォトステッチを当日中に実施。また、翌日からの大型資料撮影に必要な機材を別室(3F)に搬入。

| 1月21日 水 | Day2 | 研修日 | 分類 | 数量 |
|---------|-------|---------------------------------|----|----|
| 8:50 | 集合 | | | |
| 9:00 | | 機材準備 | | |
| 9:30 | | 撮影開始 平面 | | |
| 10:25 | | ライト2台にセット変更 | 平面 | 10 |
| 11:00 | | 卷子・絵巻 | 平面 | 2 |
| 12:00 | | | | 7 |
| | 昼休憩 | | | |
| 13:00 | 再開 | 卷子・絵巻・文書 | 平面 | 16 |
| 15:20 | 休憩 | | | |
| 15:45 | 再開 | Affinityによるフォトステッチ講義 | | |
| 15:55 | | 朝代祭礼絵巻計20カットをフォトステッチのため撮影 | 平面 | 1 |
| 16:30 | | 撮影完了・撤収作業 | | |
| 16:30 | | 撮影機材 到着 (赤れんが博物館 → 舞鶴市郷土資料館) | | |
| 17:20 | 終了・退出 | 研修用機材類撤収・3F会議室にて撮影機材搬入 | | |
| | | | 日計 | 36 |



▲卷子が転がらないよう固定



▲大型資料の撮影調整



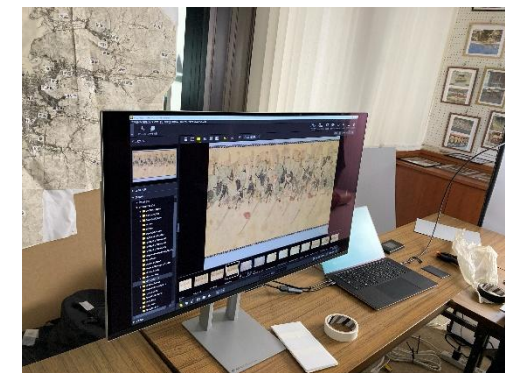
▲文書の設置風景



▲卷子の撮影風景



▲大型絵巻物の設置



▲絵巻物の撮影後データ

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

撮影 (3日目)

対象物の大きさ・形状等に合わせ都度セッティングを変更しながら、午前中は立体の考古資料（土器等）を、午後は平面資料（文書等）を計24点撮影。予定撮影分が完了した為、機材を撤収し3日目で撮影を終了。

| 1月22日 木 | Day 3 | 撮影 1 日目 | 分類 | 数量 |
|---------|-----------------|------------------------------|----|----|
| 8:50 | 集合 | | | |
| 9:00 | 開始 | 3F会議室で機材セッティング | | |
| 9:30 | | 考古資料（土器等）撮影 | 立体 | 12 |
| 11:30 | | 考古資料（土器等）撮影終了、大型平面用にセッティング変更 | | |
| 12:00 | 終了 昼休憩 再開 | | | |
| 13:00 | | 大型資料（国松家文書）撮影 | 平面 | 6 |
| 14:30 | | リスト外品目撮影（牧野家文書）撮影 | | 4 |
| 15:05 | （休憩） | | | |
| 15:15 | 再開 | リスト外品目撮影（牧野家文書）撮影 | | 2 |
| 15:50 | | セッティング変更、リスト外品目撮影（牧野家文書） | | |
| 16:15 | | 撮影終了 | | |
| 17:00 | 終了・退出 | ～機材 撤収（荷物まとめ） | | |
| | | | 日計 | 24 |



▲立体物の撮影



▲大型資料の撮影



▲大型資料時のライティング



▲脚立での位置調整

撮影した資料点数
: 70点 (146カット)

研修 : 45点/2日

- 卷子・文書・絵図類 (44点)
- 大型絵巻物 (1点)

DNP撮影 : 24点/1日
1点/1日※

※ 1/21に赤れんが博物館にて撮影

- 考古資料 (12点) ※
- 文書・絵図類 (13点)

※ 1/21に赤れんが博物館にて撮影した1点含む

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

撮影環境 (写場について)

舞鶴西総合会館3F 311会議室：約70平方メートル
・撮影に使用可能な机・椅子等あり

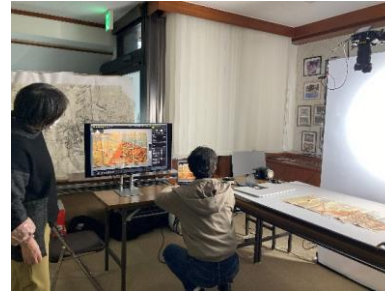


▲研修会場 (郷土資料館ロビー)
・部屋半分を写場とし照明を一部落として使用



▲3F撮影場所

●パターン①



▲古地図 (1日目)

●パターン②



▲物入れ (3日目)

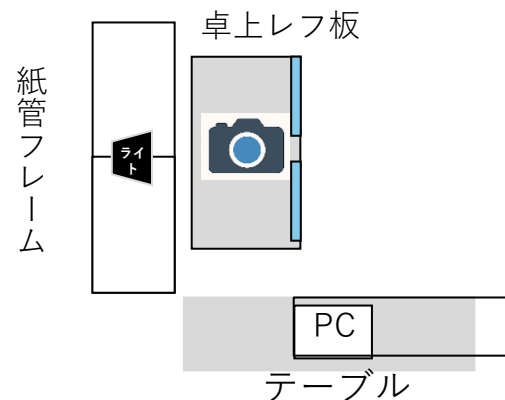
●パターン③



▲図面 (3日目)

●パターン①

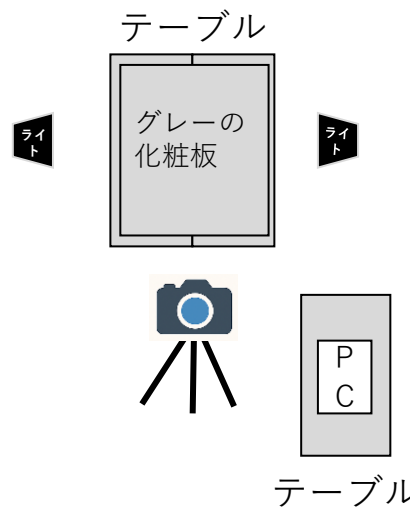
小型平面資料 (文書・地図等)



※カメラはスタンドで固定し上部に設置

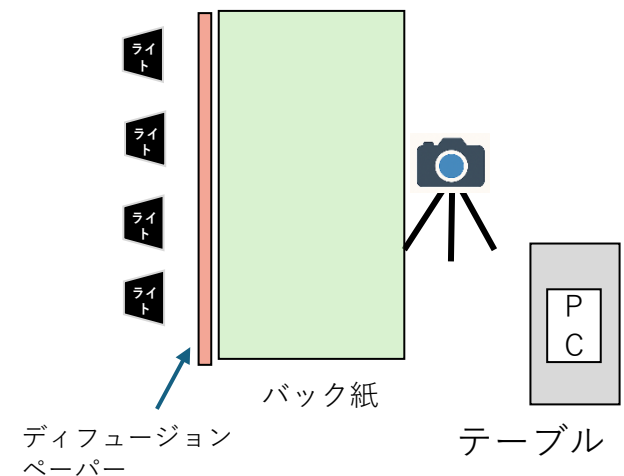
●パターン②

小型立体物 (民俗資料・考古資料等)



●パターン③

大型平面資料 (図面・地図等)
脚立で高所から撮影



2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

撮影リスト (1/3)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称1 | 作品名称2 | 撮影日 | 撮影主体 | サイズ |
|-----|--------|--------------------------------------|-------|-------|---------------|
| 1 | 井上家文書 | | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 2 | 井上家文書 | | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 3 | 井上家文書 | | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 4 | 布川家文書 | 丹後國加佐郡余部下村全図 | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 5 | 布川家文書 | 第四余部鎮守府明治20年7月25日御内定測量地図 | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 6 | 布川家文書 | 両町合併ニ関ル嘆願書 | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 7 | 布川家文書 | 市場ヨリ長浜浦二達ル街道加佐郡余内村大字余部下地係り道路開鑿工事施工日誌 | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 8 | 布川家文書 | 道路開鑿工事設計書 加佐郡余部町字余部下 | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 9 | 布川家文書 | 丹後國加佐郡寺社町在旧記 | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 10 | 布川家文書 | 鎮守府御用宿帳 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 11 | 布川家文書 | 海軍御用費用 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 12 | 布川家文書 | 鎮守府御用日誌 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 13 | 布川家文書 | 明治三十年二月呉港取調問合 | 1月20日 | 研修で撮影 | |
| 14 | 國松家文書 | 亜墨利加封度初御筒 鑄立仕立御入用勘定書 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 15 | 國松家文書 | 拂蘭西御筒 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 16 | 國松家文書 | 鑄物師職之事 (鑄物師職許状) | 1月21日 | 研修で撮影 | 包紙あり |
| 17 | 國松家文書 | 文字型「敵」「愼」 | 1月21日 | 研修で撮影 | 野田笛甫大砲の字型 |
| 18 | 國松家文書 | 舞鶴水交支社西洋館 風窓鑄鉄物現寸図 | 1月21日 | 研修で撮影 | 55×79 |
| 19 | 國松家文書 | 三貫目モルチイル献上筒切形 (牧野家家紋入) | 1月21日 | 研修で撮影 | 56×30.5 コピーあり |
| 20 | 布川家文書 | 余部上新市街図 (加佐郡余部町余部上地図) | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 21 | 布川家文書 | 余部下 (加佐郡余部町字余部下新市街地図) | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 22 | 梅垣西浦文書 | 巻1 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 23 | 梅垣西浦文書 | 巻2 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 24 | 梅垣西浦文書 | 巻3 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 25 | 梅垣西浦文書 | 巻4 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 26 | 梅垣西浦文書 | 巻5 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 27 | 牧野家文書 | 木箱「丹後加佐郡東大浦沿岸写生図二巻」 | 1月21日 | 研修で撮影 | 2巻 |
| 28 | 牧野家文書 | | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 29 | 朝代祭礼絵巻 | 朝代祭礼絵巻の箱 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 30 | 朝代祭礼絵巻 | 巻1 | 1月21日 | 研修で撮影 | 3巻 |
| 31 | 朝代祭礼絵巻 | 巻2 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 32 | 朝代祭礼絵巻 | 巻3 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 33 | 牧野家文書 | 舞鶴藩知事被仰付候事 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 34 | 牧野家文書 | 父豊前守生前願～ | 1月21日 | 研修で撮影 | |

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

撮影リスト (2/3)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称 1 | 作品名称 2 | 撮影日 | 撮影主体 | サイズ |
|-----|-------------------------|----------------------------------|-------|-------|-----------|
| 35 | 糸井文庫 | 丹後の国変化物語 4冊 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 36 | 糸井文庫 | やぶれやつづくりばなし 2冊 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 37 | 糸井文庫 | 北溟手記 所識姓名録 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 38 | 糸井文庫 | 丹後国加佐郡海岸之絵図 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 39 | 糸井文庫 | 丹後国加佐郡海岸之絵図 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 40 | 糸井文庫 | 丹後国加佐郡海岸之絵図 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 41 | 糸井文庫 | 田邊紀 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 42 | 糸井文庫 | 享保二十卯年洪水之記 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 43 | 牧野家文書 | 丹後田邊府誌 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 44 | 牧野家文書 | 諸家系譜 六巻 | 1月21日 | 研修で撮影 | |
| 45 | 朝代祭礼絵巻 | 巻1 | 1月21日 | 研修で撮影 | 3巻 |
| 46 | 引土埋蔵銭 | | 1月22日 | DNP | |
| 47 | 志高土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 48 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 49 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 50 | タカラガイ壺 | | 1月22日 | DNP | |
| 51 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 52 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 53 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 54 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 55 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 56 | 志高遺跡土器 | | 1月22日 | DNP | |
| 57 | 引土埋蔵銭 | | 1月22日 | DNP | |
| 58 | 國松家文書 | 陸軍鑄造迦のう 十二凡度正図 | 1月22日 | DNP | 58×296 |
| 59 | 國松家大砲関連資料並びに鑄物師 関連資料 | 鉄製三貫目短常煩全図重量凡三百五十貫(尾州古屋信 之写之) | 1月22日 | DNP | 45×225 |
| 60 | 國松家文書 | 合武三島流青銅銃一貫目玉走五尺三寸正面之図 | 1月22日 | DNP | 171×40~27 |

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

撮影リスト (3/3)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称 1 | 作品名称 2 | 数量 (カット数) | 撮影日 | 撮影主体 | サイズ |
|-----|--|--------------------------------|--------------|-------|------|-------------|
| 61 | 國松家文書 | 釣鐘正図 惣長4尺 | 1 | 1月22日 | DNP | |
| 62 | 國松家文書 | 合武三鳥島流青銅上鑄掛銃一貫玉走三尺四寸五分正面之図 | 1 | 1月22日 | DNP | 124.5×39~30 |
| 63 | 國松家大砲関連資料並びに鑄物師関連資料 | 十五ドイム則廿四ポイント鉄弾「ハウ井ツツル」砲鑄鑄造正寸全図 | 1 | 1月22日 | DNP | 39.2×106 |
| 64 | 牧野家文書 | 田邊城圖 | 1 | 1月22日 | DNP | |
| 65 | 牧野家文書 | 加佐郡圖 | 3 | 1月22日 | DNP | |
| 66 | 牧野家文書 | 舞鶴市街平面図 | 1 | 1月22日 | DNP | |
| 67 | 牧野家文書 | 鴻巣御廟所総絵図 | 1 | 1月22日 | DNP | |
| 68 | 牧野家文書 | 勝願寺 総絵図 | 1 | 1月22日 | DNP | |
| 69 | 牧野家文書 | 舞鶴市街平面図 | 2 | 1月22日 | DNP | |
| 70 | 布川家文書 (内容は下記画像参照) ※舞鶴市立赤れんが博物館で撮影済み | | 7 | | | |

| 写し込み | 枝番 | 内容 | 内容 |
|------|----|-------|-----------|
| 別-01 | -1 | 布川家文書 | 表紙 |
| 別-01 | -2 | 布川家文書 | 見開き 中見せ-1 |
| 別-01 | -3 | 布川家文書 | 見開き 中見せ-2 |
| 別-01 | -4 | 布川家文書 | 見開き 中見せ-3 |
| 別-01 | -5 | 布川家文書 | 見開き 中見せ-4 |
| 別-01 | -6 | 布川家文書 | 見開き 中見せ-5 |
| 別-01 | -7 | 布川家文書 | 見開き 中見せ-6 |



▲舞鶴市郷土資料館 「布川家文書」1点7カットを赤れんが博物館の写場にて撮影 (郷土資料館長兼赤れんが博物館長のお立ち合い)

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (8) 舞鶴市郷土資料館

施設ヒアリング：デジタルデータの活用イメージ・アイデア

- 2033年の完成を目標に、再雇用職員を中心とした市史編纂室により『舞鶴市史』の編纂を進めている。郷土資料館が主体というより、市史完成を最優先課題とし、その基礎作業として資料のデジタル化を推進している。デジタル化作業も、市史編纂室メンバーが中心となって担う予定である。
- 市史は紙媒体に加え、Web上でデータベースとして閲覧できる形での公開も計画している。舞鶴鎮守府の日本遺産登録や「艦これ」などの影響で注目が高まっていることから、関連資料を含め積極的にデジタル化・公開していく方針である。
- 一方、舞鶴市郷土資料館は常設展示のみで、企画展示スペースがない。そのため、寄贈資料等を十分に公開できず、活用機会の不足が課題となっている。また、受益者負担の見通しに伴う有料化により、市民が気軽に立ち寄りにくくなった面もある。これらの課題解決策として、デジタルアーカイブを活用し、Web上で企画展を実施するなどの取り組みが期待される。

施設ヒアリング：課題

- 現在、事務職員3名のみで施設運営を行っており、学校見学や出前授業にも対応している。デジタルアーカイブについては、市内で鎮守府資料の活用要望が時折あるものの、外部からの問い合わせはほとんどない状況である。
- 専属職員は会計年度任用職員のみであるが、市文化振興課が「資料館だより」の作成等を支援している。また、学芸員の採用数も比較的多く、小規模館としては体制に恵まれていると認識している。
- 収蔵については、廃校を収蔵庫として活用している。紙資料は施設内、民俗資料・考古資料は廃校といった形で分散管理している。資料数は増加傾向にあるが、収蔵先となる廃校を増やすと維持管理費が増大するため、現時点で拡張の予定はない。